

# 三本木でのひととき



七夕  
みんなで願い事を書きました。  
叶うといいね。



天気の良い日は施設内を散歩しています。楽しいネ！



おいしいネ！

## 敬老の日 今日是一緒におやつ！ 特別なおやつを食べました。

いつもおいしい食事を  
ありがとうございます。  
毎日メニューを発表してくれ  
ます。



### 介護のワンポイント

今回、「介護のワンポイント」のコーナーを設けてみました。初回は、衣替えのシーズンということもあり、衣服の役割について考えてみたいと思います。人は、身にまとう衣服によって、気持ちや態度が変わって、満足感が得られ、気持ちも豊かになり、またゆったりと動きやすい衣服の着用は動作を円滑にします。

衣服を着る目的として 外界との境界となつて、身体や心を守り、安心を得る。 体温の調節をする。 体の表面の汚染を防ぎ、刺激（光・熱・虫）から守る。 汗などを吸収する。 社会生活を円滑にする。 等があります。

では、介護するにあたって衣服にはどんな注意を払つたらよいのでしょうか？衣服は清潔であることが条件となります。特に肌着は毎日交換し、洗濯をしてよく乾燥したものを着用します。汗をかいた時、汚れた時、介護中に汚れたり、濡らした場合はその都度着替えをさせます。汚れたままでは不快であるばかりでなく、皮膚がかぶれたり、褥瘡をつくることにもなりかねません。

具体的には、次のような衣類がよいようです。 老人が動きやすく、着脱のしやすいもの（ボタンのかけられない場合は、マジックテープにかえる） 形はゆつたりとして安楽なもの。 肌に直接触れる衣類の素材は、吸湿性に富み、皮膚を刺激しないもの（柔らかい木綿、ガーゼやメリヤス織）。 肌触りがよく、洗濯のきくもの。 色合いは、好みを配慮する。

（『絵でみる介護』より抜粋）